



総合防災訓練

地域社会の連帯感を醸成

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

来るべき災害に備え
地域防災体制を強化

近年、全国各地で地震や台風、ゲリラ豪雨などの自然災害が多大な被害をもたらしているなか、災害に強いまちづくりを進めるためには、日ごろから住民一人ひとりが自主防災の意識を持ち、災害発生時に的確に対処できる知識を身につけ、地域の人々が協力して防災活動を行っていく自主防災組織の育成が重要です。田原本町では、自主防災組織に対する補助金制度を整え、組織の結成・活動を促進しながら、住民、自主防災組織、行政が互いに協力して、災害に強いまちづくりを進めています。



防災訓練(避難所運営ゲーム HUG)



救急救命講習



出初式



防災無線放送



登下校の見守り活動



高齢者交通安全教室

田原本町では、消防・救急体制の充実はもちろん、防犯パトロールによる地域防犯体制の充実、交通安全教育の強化などを実施。子どもから高齢者まで、安心して快適に暮らせる安全なまちづくりを進めています。

安全・安心な暮らしを支えるまちづくり



浄照寺前



かるた大会



広域連携
県立美術館での
PR展示

歴史ロマンあふれる町を楽しみながら知る



観光ビデオ撮影

伝えたい

町内外へ
効果的に情報発信

田原本町には、日本の弥生時代を代表する集落遺跡の唐古・鍵遺跡だけでなく、歴史深い寺社など観光資源がたくさんあります。地元の人にはもちろん、よりたくさんの人に知っていただき、興味を持っていただければ、PR活動を行っているところで。これからは、観光アプリや観光プロモーションビデオといった観光ツールも活用し、誘客を図っていきます。また、町単独の活動だけでなく、奈良県や他市町村と連携した活動も行っています。

観光ステーション
「磯城の里」

観光ステーション「磯城の里」は、田原本町を訪れた観光客の方々が観光スポットなどの情報を収集したり、休憩所として利用することができます。

観光協会では、このステーションで観光客をお迎えし、観光案内やレンタサイクルを行っています。また、観光ボランティアガイドによる案内(要事前申込)も実施しています。



「ももたん」



生活基盤の充実した

まちづくり

自然や歴史と調和した暮らしやすいまち

充実した都市基盤整備を計画的に推進



主要幹線道路(宮古25号線)



田原本駅前ロータリー

町民の足として大活躍！あいのりタクシー

「ももたろう号」

田原本町では、利用者の予約を受けて乗合で町内を運行するデマンド型乗合タクシー「愛称「あいのりタクシー」ももたろう号」の運行を行っています。



田原本町では、自然や歴史との調和はもとより、田原本駅周辺市街地を核として、人々が住まい、にぎわい、暮らしよいまちづくりを計画・推進しています。町民の利便性向上を図るための道路整備

や、快適な生活環境を保つための上下水道の整備、環境保全を推進するごみ処理施設の建設など、日々の暮らしを楽しめるまちの実現に向け、さまざまな課題に取り組んでいます。

町内各所に多彩な公園を整備

田原本町では、唐古・鍵遺跡史跡公園の整備と同時に、各地域の公園整備にも平成8年から取り組みはじめ、「田原本町イベント広場」や大和川の河川敷を利用した「しきのみちはせがわ展望公園」、旧清掃工場に隣接した「やすらぎ公園」が完成し、それぞれ地

域の憩いの場として親しまれています。これにより、町民の憩いの場となる公園は、一定の整備が進み緑地面積も増加しました。今後はスポーツやレクリエーション施設、子どもの身近な遊び場を備えた公園整備を進めていきます。



しきのみちはせがわ展望公園 ながめの丘



しきのみちはせがわ展望公園 すいせんの丘



やすらぎ公園

御所市・五條市と共同で 新ごみ処理施設を建設

田原本町と御所市・五條市は、共同で循環型社会形成と周辺環境や地球環境の保全に配慮した広域ごみ処理施設を建設しました。

施設の統合・集約化により、環境への負荷を抑制できることはもちろん、広域化によって国の循環型社会形成推進交付金の対象となったことで、財政面での負担も軽減されています。



新ごみ処理施設「やまとクリーンパーク」



清掃センター(中継施設)

田原本町 主な公共施設



配水場



浄化センター



やすらぎ体育館



中央体育館



ふれあいセンター



老人福祉センター



町民ホール



浄水場



健民運動場



中央体育館庭球場



保健センター



図書館



青垣生涯学習センター